

様式第1号

会 議 録

会議の名称		令和4年度第2回自転車のまちつくば推進委員会		
開催日時		令和4年(2022年)11月3日 開会 12:00 閉会 12:30		
開催場所				
事務局(担当課)		都市計画部総合交通政策課サイクルコミュニティ推進室		
出席者	委員	古平委員、沼田代理、藤澤委員、渡委員、篠委員、永田委員、松井委員、松橋委員、野澤委員、大里委員、谷内委員		
	その他	—		
	事務局	高橋室長、藤代主任、河野主任、小川主任、飯田技師		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 非公開	<input type="checkbox"/> 一部公開
傍聴者数		多数		
非公開の場合はその理由				
議題		「つくば市における自転車利活用について」		
会議録署名人		—	確定年月日	令和 年 月 日
会議次第	<p>パネルディスカッション「つくば市における自転車利活用について」(五十嵐市長、渡辺航氏、篠氏)</p> <p>○五十嵐市長発言要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つくば市の自転車環境は選択肢が多くある。普段から自転車に乗る人は不動峠をいろいろな形で攻める、河川敷を走るということができるし、慣れていない人はゆったり走る環境もある。 ・つくば市も中心部に人が集まっているが、「まちづくり」といった点で考えると、人の流れを外に向けたい。そのために自転車は有効である。 ・りんりんロードは日本でも数少ない NCR に選ばれている。多くの人に利用してもらいながら、「おもてなし」の部分や道路環境の部分で整備が進んできた。 ・つくば市では、サイクルコミュニティ推進室という室をつくり、「つくばサイクル」という愛称にしている。この愛称は、町の自転車屋さんのような、市民に寄り添った行政でありたいという願いがある。 ・自転車乗りの方の意見を聞き、コミュニケーションをとりながら改善を進めていきたい。 			

様式第1号

○渡辺航氏発言要旨

- ・つくば市は5キロくらい信号なしで走れる道が多い。自転車に乗っていてストレスが少ない。
- ・都市から田舎へすぐに切り替わる点など、自転車に乗っていて楽しい街である。
- ・りんりんロードには鉄道の跡地が残っていて、それを感じながら走ることができる。また、周辺にも自転車乗りが立ち寄れるようなカフェなども多く、素敵な街であると感じる。
- ・朝日峠の下りのランプを削ってほしい。ぜひ土浦市はじめ、他の自治体・行政と連携して走りやすい環境づくりをしてもらえたら。

○篠氏発言要旨

- ・茨城は平地ばかりかと思っていたが、山もある。
- ・特につくば市は、りんりんロードのような、初心者も走りやすいサイクリングロードが通っており、慣れてきたら山登りもできる。自転車で走る力のステップアップにととても良い。
- ・自転車は公道を走ることが必須であるが、つくば市民はまちぐるみで自転車に対し理解があるように感じる。

以上